

令和8年産大崎地域の 大豆作技術情報(第2号)

令和8年8月6日発行
宮城県大崎農業改良普及センター
TEL: 0229-91-0726 FAX: 0229-23-0910
<https://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/>

～栽培のポイント～

- ・中生品種では開花が始まっています。開花状況を確認しましょう。
- ・大豆が開花前で、雑草の発生が目立つ場合は、適切な雑草防除を行いましょう。

1 気象経過

- ・5月前半は少雨でしたが、5月21日以降、**断続的な大雨**に見舞われました。
- ・気温は周期的に変化しましたが、大豆の発芽・生育を妨げるものではありませんでした。
- ・今後向こう1か月間程度は気温が高い状態が続くことが予想されます。

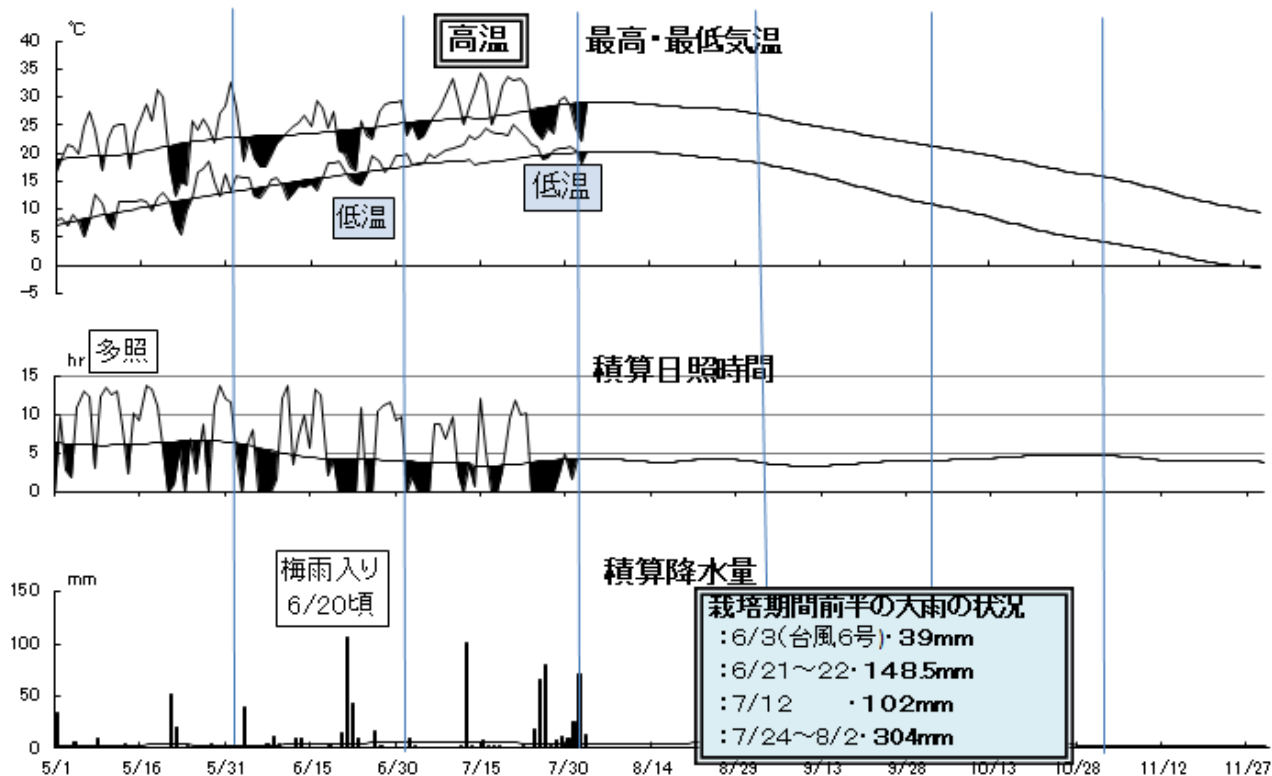


図1 大豆栽培期間中の日別気象推移(古川アメダス)
※実線又は棒グラフが本年値、点線は平年値

東北地方1か月予報 (8月1日から8月31日)				7月30日仙台管区气象台発表			
<向こう1か月の確率(%)>				<気温経過の確率(%)>			
	低(少)	平年並	高(多)		低い	平年並	高い
【気温】	20	30	50	1 週 目	20	30	50
【降水量】	40	40	20	2 週 目	20	40	40
【日照時間】	20	40	40	3~4 週 目	10	40	50

2 生育概況(7月27日現在)

※地域全体について (○良好～△やや良～▲やや不良～●不良)

▲適期となった5月21～22日の降雨により、播種作業の開始は遅延した。

○排水良好なほ場を中心に播種作業は降雨の合間を縫って進捗、概ね6月中旬までに大部分で播種を終了。

●表面水が滞留したほ場では長期に渡り播種作業に支障を来し、一部では播き直しを余儀なくされた事例もあり。

●播種はできたものの、天候により播種時処理除草剤の処理が遅れたほ場では効果が低減し、**雑草が多発**しているほ場も見られる。

△適度な土壌水分と気温により、**発芽は良好**(下位節間はやや徒長傾向)。

●発芽率が高かったほ場では**栽植密度は高く**、今後の**過剰生育が懸念**される。

●長期の固定連作のため生育不良となっている事例あり。

※生育調査結果(7月27日現在)

- ・調査ほ場は播種時期が前・平年より遅めでしたが、7月27日調査では、主茎長：短め～**長め**、主茎節数：少なめ～**多め**、分枝数：少なめ～**多め**、となっています。
- ・タンレイ(中生)は7月27日に開花期(開花率50%)に達しており、きぬさやか、すずみのりも開花は始まっていることから、間もなく開花期に達する見込みです。

表1 生育調査結果

地区名 品種名	区分	栽植密度 (本/㎡)	播種日	7月27日			開花期
				主茎長 (cm)	主茎節数 (節/本)	分枝数 (本/本)	
古川 タンレイ	本年	17.1	5月31日	45.7	12.7	2.4	7月27日
	前年比	139%	3日遅い	112%	119%	74%	5日遅い
	平年比	140%	4日遅い	87%	100%	103%	3日遅い
古川 ミヤギシロメ	本年	11.5	6月12日	38.9	9.8	0.7	未
	前年比	117%	6日遅い	66%	76%	17%	-
	平年比	117%	8日遅い	78%	83%	27%	-
古川 きぬさやか	本年	17.2	6月2日	41.3	11.5	2.1	未
	前年比	149%	3日遅い	140%	123%	52%	-
小野田 すずみのり	本年	16.6	6月12日	44.0	9.9	1.8	未
	前年比	120%	±0日	122%	122%	108%	-
	平年比	133%	3日遅い	111%	106%	115%	-

※ 平年比は、前5カ年(令和3年～令和7年)の平均値との比較
ただし、小野田・すずみのりの平年値は、令和5年～7年の3カ年

3 今後の栽培管理のポイント

- ・雑草の発生が目立つほ場では、大豆が開花していないことを確認して、除草剤散布を実施しましょう。
- ・中耕培土未実施のほ場では、開花期までに最低1回は実施しましょう。
- ・追肥を行う場合は緩効性肥料を用い、最終培土時に土壌に混和する様に施用しましょう。

◆◆◆◆◆農薬危害防止運動(6月1日～8月31日)◆◆◆◆◆

運動のテーマ 「使用前、周囲よく見て ラベル見て」

「大崎地域の稲作技術情報」、「大崎地域の大豆作技術情報」、「大崎地域の麦作技術情報」は、当普及センターのホームページでもご覧いただけます。インターネットで「大崎農業改良普及センター」と検索または右のQRコードを読み取ってください。

